

## 競技・審判上の確認

競技委員長 田 中 淳

審判委員長 川 崎 尚 子

### 1 競技規則について

- (1) 平成28年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。ただし、準決勝戦および決勝戦はファイブボール・システムとする。  
なお、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「MVA300」、  
女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

### 2 チーム構成について

- (1) チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名（ただし、チームスタッフに教職員が含まれない場合は引率教員1名）・選手18名以内とし、試合毎に12名の選手とリベロ・プレーヤー2名を構成メンバー表にエントリーする。
- (2) 大会申込書に記載された監督・コーチ・マネージャーの変更は、代表者会議終了後、ただちに競技委員長に届けなければならない。
- (3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに指定の構成メンバー表に記入し、メインアリーナ本部席まで提出する。試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出する。尚、リベロ・プレーヤーは、構成メンバー表の「選手名」欄と「リベロ・プレーヤー」欄の両方に記入する。

### 3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、外部コーチは、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督は記録席に最も近い位置でベンチに座る。また、他のメンバー同様、コート上の選手に指示を与えてもよい。試合を妨げない、または遅延させない限り、アタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
- (4) 構成メンバーとは、各試合毎にエントリーされたメンバーである。
- (5) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一したウェアを着用する。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

### 4 コートワイピングについて

- (1) 構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モップとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが行う。クイック・モップがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

### 5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストを着用することがある。
- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ競技者については、以下のとおりです。
  - ①登録12名の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
  - ②登録13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

## 6 試合開始時刻について

### (1) 第1試合の開始時刻について

- 11月14日(月) A～Dコート(12:30) E・Fコート(11:30)
- 11月15日(火) A～Fコート(9:30)
- 11月16日(水) A～Dコート(9:30)
- 11月26日(土) 特設コート(9:00)

第1試合のプロトコールは、上記開始時刻の11分前に行う。

### (2) 2試合目以降は、前の試合終了後10分後にプロトコールを開始する。

### (3) 同一チームが連続試合になる場合は、前の試合が終了してから最大20分後にプロトコールを開始する。

## 7 服装について

### (1) ユニフォーム・ナンバーは、胸部の高さが最小限15cm、背部の高さが最小限20cmなければならない。ナンバーの色と明るさはジャージと対照的でなければならない。

### (2) ソックスは、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。

### (3) 金属が出ているサポーターを着用することはできない。また、ユニフォームの上にサポーターを着用してはならない。(腰部サポーターはユニフォームの中に着用すること。足首用サポーターはソックスの上に着用することができる。)

### (4) 襟元や袖口等、ユニフォームから飛び出すアンダーウェア・パワーパンツを着用することはできない。

## 8 試合前の練習について

### (1) 第1試合の公式練習前のウォーミング・アップについて、第1試合のチームが優先的に各コートを使用する。第2試合以降のチームは、コート外でウォーミング・アップ等を行う。また、プロトコール10分前より、各コートの使用を第1試合のみとする。

### (2) 第2試合以降は、公式練習前の10分間に、ウォーミング・アップでネット・ボールを使うことができる。ただし、近接したコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置する。

### (3) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパー(ユニフォーム以外のものを着用する)として練習に参加することができる。 ※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。

### (4) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。

## 9 その他

### (1) 本大会の補助役員は、参加チームにおいて、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計8名で行う。

- ・11月14日(月)～16日(水)の第1試合は札幌協会生徒、第2試合以降は前試合の負けチームが行う。
- ・11月26日(土)の準決勝・決勝は札幌協会生徒が行う。

### (2) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。

### (3) チームプラカードは、最初と最後の挨拶の際は、チームキャプテンが持つ。チェンジコートの際は、各チームで移動すること。試合終了後は、大会本部へ返却のこと。

### (4) 試合中ボールケース等は、ベンチ後方あるいは壁際(アップゾーン外)まで下げること。

### (5) 各競技会場の開場時刻、及び体育館内各コートの開場時刻(練習開始時刻)は以下の通り。日程によってそれぞれの開場時刻が異なるので注意すること。

- 11月14日(月) 北海道立総合体育センター(8:00)  
A～Dコート(11:30を予定) E・Fコート(10:30を予定)

- 11月15日(火) 北海道立総合体育センター(8:00)  
A～Fコート(8:30)

- 11月16日(水) 北海道立総合体育センター(8:00)  
A～Fコート(8:30)

- 11月26日(土) 北海道立野幌総合運動公園総合体育館(7:30)  
特設コート・練習コート(8:00)

### (6) 11月14日(月)、北海道立総合体育センターの開場から開会式前までの時間は、各コートの使用しての練習はできない。